

メインテーマ：
オープンデータで自分たちの街を売
り出そう

テーブルNo: 10
三菱総合研究所 津国

1.



千葉市 を売り出そう

✓課題:

- TDLとかメッセとか、房総とか来る人は多いが寄ってくれない
- 千葉駅周辺にあるものは東京にもある、、、わざわざ行かない
- 市民が誇りを持っていない、愛着がない(別の市)
 - 市政世論調査
 - 地元の祭りがなくなっている
- 意外と千葉市のイメージがない
 - TDL、メッセ、モノレール、そもそも行くことがない
 - ツーリングの穴場(通過点)
 - 同じようにシーサイドを持つけど、、、横浜と比べると、、、

1.



千葉市 を売り出そう

✓課題を解決するアイデア:

- 何かのついでに、ちょっと足を伸ばして寄ってもらえるような情報を発信する
- 退屈したとき、出張で寄った街で、ちょっと立ち寄れる場所の情報など欲しい
- でも、魅力を感じるコンテンツって、人によって違う
 - 街路樹や公園のデータ: 銀杏を拾いたい人にはプラチナデータ
 - 目的をもって行動する人も
- 外から人を呼ぶため? / 中の人にあびーるする?
- **がターゲット(若者、家族連れ?)

1.



千葉市 を売り出そう

✓ 必要なデータ／どんなデータがある

- 埋もれた情報はある
 - 千葉市観光ガイド(海越しのダイヤモンド富士、工場の夜景)
 - 歴史的建造物(復元建造物の3D情報)
 - ロケ情報
 - 飲食店
 - ニッチな資源(鉄道、文化財)
- リアルタイムなデータ(人が集まっているところ、開いているお店)
- 街のショートストーリーに合わせたデータ
 - イベントの履歴を積み重ねる
 - 行政情報＋口コミ／地元の情報

1.



千葉市 を売り出そう

✓その他

- 地図に合わせて出すと、感覚的に分かりやすい
 - 近くならちょっと足を伸ばそうとなる
 - まとまり感が出る
- 分かりやすいデザインで出す
- 目的の明確化が必要。目的が違うと、データの精度とか、時系列とかへの調整が必要